

●人口データ（令和5年9月末現在）

区 分	人 数	区 分	世帯・割合
人 口	10,939 人	世 帯 数	5,658 世帯
14歳以下	992 人	一人暮らしの高齢者世帯数	886 世帯
15～64歳	5,018 人	高齢者のみ世帯数	620 世帯
65歳以上	4,929 人	高 齢 化 率	45.1 %
(75歳以上)	(2,749 人)	後期高齢化率(75歳以上)	25.1 %

住民アンケート・座談会より

池田地区では、どの地域においてもコロナの影響により、規模縮小やその時々状況に合わせた狙いや内容を変化させ、既存の事業の再開・維持に取り組もうとする地域が多くみられました。また、特に山間地域では担い手不足が深刻化する中で、いかにして若い世代の人たちに地域コミュニティへの関心を持ってもらうか、事業に参加・協力してもらえるかが課題となっています。

また、援助が必要な方への支援については、見守り活動の継続が各地域共通の課題であり、アンケート調査の中でも地区住協には「見守り活動」の充実を期待する声が多く挙げられています。特に山間部については、家が点在していることで状況を確認しづらい点があり、見守り活動のより一層の強化が求められています。

安全で安心豊かなまちづくりについては、集まったの活動に制限がかかる中、防災・防犯研修を実施できなかった地域が多く、再開に向けての取り組みが課題となっています。また、様々な災害についての正しい知識を学び、これに対して備えることにより、住民や地域全体の防災意識の向上を図ることが重要となっています。

今後の方向性

高齢化が進展する中で、「人材確保と育成」や「サロン活動の活性化」等については、地域住民と社協が一緒になって活動を進めていくことが重要となっています。また、見守りが必要な方への支援やコロナ化により生活が不安定な方については、民生委員・地区住協と連携し、ネットワーク会議・サロン活動により情報収集を行い迅速な対応が必要とされています。

地域住民と共働で災害についての研修会等を開催し、地域の防災力を高める活動を推進します。コロナの影響等により活動がストップしてしまった地域については、アウトリーチによる支援活動により、地域活動の再始動に向けた支援を進めていくとともに、既存の事業が継続できるよう地域と社協が一体となって地域福祉活動を推進していきます。

重点事業 1	地域の絆を深める
---------------	-----------------

- | | |
|-------------|--|
| 地域での課題 | <ul style="list-style-type: none"> ▼ サロンに参加するための、移動手段や場所の確保 ▼ 若い世代の参加率の低下 ▼ 地域のつながりが薄れている |
| 課題解決に向けての目標 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い世代が参加できる事業等を実施する ○ 既存事業の再開・継続 |



取組項目	内容
サロン活動の再開・充実	既存事業の開催・規模縮小や内容の見直し。 小地域でのサロンの実施。
世代間交流の推進	既存の事業に合わせる形で新しいイベントを企画・実施。 イベントの幅広い周知と参加者へのニーズ調査。

重点事業 2	援助が必要な人に支援を届ける
---------------	-----------------------

- | | |
|-------------|----------------|
| 地域での課題 | ▼ 見守り活動の継続・強化 |
| 課題解決に向けての目標 | ○ 地域で支えあう体制づくり |



取組項目	内容
見守り活動の継続と体制整備	各種団体と連携・協力し、地域全体で見守り活動を行う。 緊急連絡先の共有し、電話での安否確認を行う。
ささえあいネットワーク会議の実施	地区住民からの情報により各関係機関が連携し、対象者の問題解決を早期に発見し必要な支援につなげる。

重点事業 3

安全で安心豊かなまちづくり

地域での課題

▼ 災害に対する備えや治安維持のための活動が必要

課題解決に向けての目標

○ 地域で安心して安全に暮らせる支援体制づくり



取組項目	内容
防災訓練・研修会の実施	防災・防犯をテーマとした研修会の開催。
緊急時の体制整備	要援護者世帯の把握と緊急連絡先の共有。 防災福祉マップの更新。
情報提供	災害に対する備えや災害発生時取るべき行動などについてまとめたチラシの作成・配布。



池田地区住協連合会防災研修